

駅馬車 (1939)

STAGECOACH

メディア	映画
ジャンル	西部劇 ドラマ
製作国	アメリカ
色彩	B&W
時間	99分
初公開日	1940/06
公開情報	松竹映配
リバイバル	1973/04 [ヘラルド] 2014/09/27 [マーメイドフィルム] (デジタル・リマスター版)

【解説】

1880年代の西部を舞台に、様々な人物模様を乗せたまま、アリゾナからニューメキシコへと疾走する一台の駅馬車を描いたジョン・フォードの痛快西部劇。医者、商売女、酒商人、銀行頭取、大佐夫人、賭博師、保安官、御者、それにお尋ね者のリンゴオ・キッドを加えた8人の道行きを、短い場面やセンテンスに凝縮させた脚本の巧みさ。そして、クライマックス、ダイナミックかつスピーディに展開されるアパッチの襲撃シーンの凄さを語るのに、今さら付け加えるべき言葉はない。だが、当然の事ながらフォードの演出が冴え渡るのは何もアクション・シーンに限っての事ではなく、リンゴオ（ウェイン）と商売女ダラス（トレヴァー）の感情の触れ合いを始め、キャラクターの成長と変化をさりげなくも効果的に描き出している。役者陣も皆良く、中でも酔いどれ医師に扮したT・ミッチェルはアカデミー助演男優賞を受けた（オスカーは他に作・編曲部門にも与えられた）。アメリカ映画、いや全映画史に燦然と輝く娯楽映画の金字塔である。どこを切り取っても名場面、それがその証明だ。

【クレジット】

監督	ジョン・フォード	John Ford	
製作	ジョン・フォード	John Ford	(クレジットなし)
製作総指揮	ウォルター・ウエンジャー	Walter Wanger	
原案	アーネスト・ヘイコックス	Ernest Haycox	
脚本	ダドリー・ニコルズ	Dudley Nichols	
撮影	バート・グレノン	Bert Glennon	
音楽	ボリス・モロス	Boris Morros	
	リチャード・ヘイグマン	Richard Hageman	
	W・フランク・ハーリング	W. Frank Harling	
	ジョン・レイポルド	John Leipold	
	レオ・シューケン	Leo Shuken	
	ルイス・グルーエンバーグ	Louis Gruenberg	
特殊撮影	レイ・ビンガー	Ray Binger	
出演	ジョン・ウェイン	John Wayne	リンゴ・キッド
	トーマス・ミッチェル	Thomas Mitchell	ジョシア・ブーン医師
	クレア・トレヴァー	Claire Trevor	ダラス
	ルイーズ・プラット	Louise Platt	ルーシー・マロリー
	ジョン・キャラダイン	John Carradine	ハットフィールド

ドナルド・ミーク	Donald Meek	サミュエル・ピーコック
ジョージ・バンクロフト	George Bancroft	カーリー・ウィルコックス保安官
アンディ・ディヴァイン	Andy Devine	バック
バートン・チャーチル	Berton Churchill	エルスワース・ヘンリー・ゲイトウッド
トム・タイラー	Tom Tyler	ルーク・プラマー
ティム・ホルト	Tim Holt	ブランチャード
フランシス・フォード	Francis Ford	